

ライフドアすわ「9月認知症月間」の取組み

○期間:8月31日(月)～10月8日(木)

○目的:9月21日の認知症の日を中心とした9月認知症月間に合わせ、認知症の理解を広めるとともに安心して暮らせる地域づくりについて考える機会をつくる。

○実施内容

① 認知症啓発パネル・市民の皆さんからのメッセージ展示

認知症に関する啓発パネル6枚を展示中。また「安心して認知症になれる地域って、どんな地域？」をテーマに来場者の皆さんからメッセージを募集し展示中。認知症について知っていただくだけでなく、「認知症になっても安心して暮らせる地域」について一緒に考えていただく機会としている。

※展示に先立ち、認知症高齢者家族会「こむぎの会」、認知症カフェ「えがお」の参加者の皆さんにもメッセージを記入していただいた。

【展示期間・場所】

- ・8月31日(月)～9月11日(金) 諏訪赤十字病院 1階ロビー
- ・9月14日(月)～9月25日(金) 総合福祉センター「いきいき元気館」1階ロビー
- ・9月25日(金)～10月8日(木) 市役所 1階ロビー

② 認知症啓発グッズを地域へ

市内の医療機関、薬局、認知症サポーター養成講座を受講した企業等、約140か所へ認知症啓発グッズを配布。身近なところでグッズを目にすることを通して、認知症について考え、理解を深めるきっかけとなることを目指している。

【認知症啓発グッズは、手作り！】



・8月4日に社協とのコラボ企画「認知症啓発グッズを作ろう」を開催。認知症サポーター、学生ボランティア、認知症カフェ「えがお」の参加者、地域の方、専門職など30名が参加。事前に認知症サポーター養成講座で認知症を学び、啓発グッズを作成。認知症のある人もない人も自然に交流し、つながる場となった。

③ 広報すわ9月号を活用した啓発

地域包括支援センターと協働で、「広報すわ9月号」に認知症に関する記事を掲載。市民の皆さんに、認知症を身近なこととして考えてもらうきっかけとなることを目指す。

○今回の取組みで大切にしていること

- ・認知症について「知る」ことから、自分たちの地域を「考える」、そして「ともに歩む」地域づくりへつなげていきたい。